

科目	現代文A
----	------

担当者名 河田 晋作

教 科		国語	単位数	2	学科・学年	全学科共通・3年選択
使用教科書		現代文A（東京書籍）			副教材等	なし
授業の概要	1 主体的に文章を読み、著者のものの見方や感じ方を読み取り、社会や自然などについて考察する力を高めます。 2 文章特有の表現を味わったり、語句の用いられ方について理解を深めたりします。				学習の目標	1 言葉に対する関心を深め、近代以降のさまざまな文章を読み、読書に親しむ態度を身に付けます。 2 我が国の伝統と文化、とくに言語文化に対する理解を深めていきます。
学 習 内 容					評価の観点・評価方法等（※学期ごとに下記の項目で評価します。）	
1学期	1 随想・評論 ・文学 さくらさくらさくら ・社会 「身銭」を切るコミュニケーション 2 小説・詩歌 ・現代 みどりのゆび ・近代 山月記 3 言語活動 ・朗読して味わう				関心・意欲・態度	【趣旨】 ・言葉で伝え合い、理解する力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。 【評価方法】 ・課題への取組状況や提出物の状況、出席・授業態度で〔関心・意欲・態度〕を評価します。 【割合】 ・25%
					話す・聞く能力	
2学期	4 随想・評論 ・芸術 ミロのヴィーナス ・労働 分からないからおもしろい 5 小説・詩歌 ・現代 ナイン 6 小説・詩歌 ・永訣の朝 ・信濃路				書く能力	
					読む能力	【趣旨】 ・文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 【評価方法】 ・音読や朗読の状況、発表、プリントやノートの内容、定期考査などで〔読む能力〕を評価します。 【割合】 ・40%
3学期	7 随想・評論 ・環境 豊かさと生物多様性				知識・理解	【趣旨】 ・我が国の伝統と文化、また、とりわけ言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。 【評価方法】 ・小テストや定期考査などで〔知識・理解〕を評価します。 【割合】 ・35%
					その他	・上記を踏まえて定期考査を行います。また、学年の評価は1学期、2学期、3学期の評価を総合して行います。
課題提出物等	1 授業中に使用するプリントやワークシート 2 問題演習の課題 3 夏季・冬季休業中の課題 4 ノート 5 小テスト					
担当者より	1 自ら現代文Aを選んで受講しているからには、積極的に授業に取り組み、読解力を磨くことはもちろん、さまざまな文章に触れ、人生を豊かにしましょう。 2 なるべく多くの文章を授業の中で取り上げ、ともに読み味わいたいと思います。普段から読書することを心掛けてください。音読も積極的にしていきます。声に出して読んで伝えることも意識しましょう。 3 授業中の課題への取組や学ぶ姿勢を重視します。文章読解の演習も行いますので、確実にこなしてください。					

